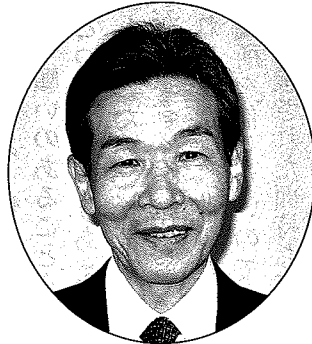
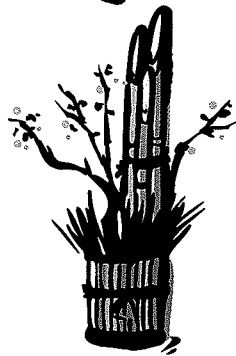


まめなかの

発行責任者

隠岐広域連合立
隠岐病院長
隠岐の島町城北町

年頭に あたって



隠岐病院院長
たけだ ひろし
武田 博士

新年明けましておめでとございませう。

昨年は病院医療の崩壊が強く実感された年でしたが、今年もこの傾向は進み、地方では更に悪化する事は明らかです。私共の病院でもこうした荒波をまともに受けていますが、医療の陣頭に立つ医師・看護師・コメディカルの工夫と努力で島の医療を支え、医療ニーズにしっかりと応えなければなりません。

今年の病院の夢といえますか抱負です。

- ・ 専門性、標榜科の枠に囚われず何でも診療(職員の教育・研修の充実)
- ・ 分娩取り扱い年間百以上(産科医師を求む)
- ・ 救急医療の更なる進化と充実
- ・ 特定健診・特定保健指導への確かな対応(予防医療への第一歩)

・ 地域医療の実際を学んで頂く研修医指導体制の充実強化
・ 病院の存続がかかる健全経営への努力

とりわけ島の少子化に歯止めをかけるためにも、また、島内での出産を強く希望されるアンケート結果に因應するためにも分娩体制の整備が急がれます。外来の助産師チームの指導「あかり」も充実してきましたが、頻度の高い帝王切開にも容易に対応できるような産婦人科医師の増員が必要です。幸い昨年は志を抱いた一名の産婦人科医師と二名の外科医の参加を得て手術も可能となり外科関連の診療は良くなってきました。こうした手術への協力的体制が改善されている環境で産科医療に関心をもちたれる医師の来島を強く念願しています。

これから先少なくとも数年は続く厳しい状況にあっても医療をしっかりと支えることが出来るのは、現在進行形の制度や数の議論ではなく、一人一人の医師をはじめとする医療人のまさに「どげんかせんといかん」という情熱に頼るしかありません。

“隠岐の国”の皆様の喜びを糧に医療に専念してみたいと考えられる同志の方々を熱い気持ちで求めています。

医々とも座談会 隠岐の島町をひとめぐり

隠岐病院では、院長が地域に出かけて住民の皆さまの声を膝を交えて聞く、「医々とも座談会」を実施していましたが、隠岐の島町十五ヶ所において、四百余人にご参加いただき貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

会に参加された方からは、「病院の内容がよくわかり、病院が身近に思えてきた」「院長先生の方針が理解できた」等の感想をいただいている他、厳しいご意見、ご要望を伺う事が出来ました。

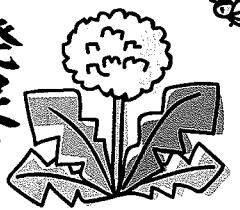
皆さまのご意見は、今後の病院運営に活かしたいと思います。

「医々とも座談会」は、今年も引き続き行いたいと考えています。私の地区で又は集会所で行って欲しい、その時はこんな話が聞きたい等のご要望があれば是非お聞かせください。

連絡先 地域連携室

田中清

がん患者会 サロン「隠岐たんぽぽ」 発足!



「私の周りを見渡したただけでもがん患者はとても多い。痛みやいろいろな苦しみ、悩み、思い、又喜びや願いのあることを、共に病気とつき合い解りあえる者同士話しがしたい。松江赤十字病院のがん患者会に参加して、心が打たれました。是非隠岐にもそんな場所を作りたいのです。少し緊張された面持ちで、永海さんが話しに來られたのが、昨年の夏でした。

永海さんが感銘を受けた松江赤十字病院のがん患者会（くつろぎサロン）を立ちあげてこられた武田院長は、隠岐にも絶対必要だという強い思いがあり、その頃、院内では緩和ケア委員会により緩和ケアチーム活動を始めた頃でスタッフの思いも深いところでの話でしたので、



▲発足を祝って、院長と永海さんのケーキカット！

患者会の立ち上げは、それぞれの強い願いが機を同じくして実を結んだ形となりました。

十二月一日、準備段階からお世話になった松江赤十字病院の「くつろぎサロン」の方々、室津和夫先生、隠岐の島町 岩水守

がん患者会 サロン「隠岐たんぽぽ」のご案内

がんという病気を抱えた人にしかわからない色々な悩み、がんの身内を支える家族・支えてきた家族でしかわからない苦悩、患者同士・家族同士だからわかりあえる思いがあります。気分転換や癒し、情報交換の場として、是非ご利用下さい

開催場所：隠岐病院2階講義室
日 時：毎月1日・16日（午後2～4時）
費 用：参加されたときに1回200円（茶代）
申し込み：不要

◎入院中・通院中の患者さま、ご家族さま、又どなたでも自由に参加できます。

問い合わせ先 永海郁子 Tel.5-2046
藤田千鶴 Tel.5-2300
横地明子 Tel.2-1356 (代)

保健課長を来賓にお迎えし、がん患者会 サロン「隠岐たんぽぽ」の発会式が行われました。

式は、サロン「隠岐たんぽぽ」の患者さまによるハーモニカ演奏や民謡、踊り、そして参加された皆様から一言づつ医療や病気に対する思いを話していただくことも出来、やわらかな陽ざしの中、笑いあり、涙ありの素敵な「隠岐たんぽぽ」の門出となりました。

隠岐の人で全国いろいろな所で病気と闘い治療し、がんばつておられる方がたくさんいます。

「隠岐たんぽぽ」は隠岐から全国へ温かい強い絆の種を飛ばしたいとの思いで、隠岐にしかない隠岐タンポポから名づけました。

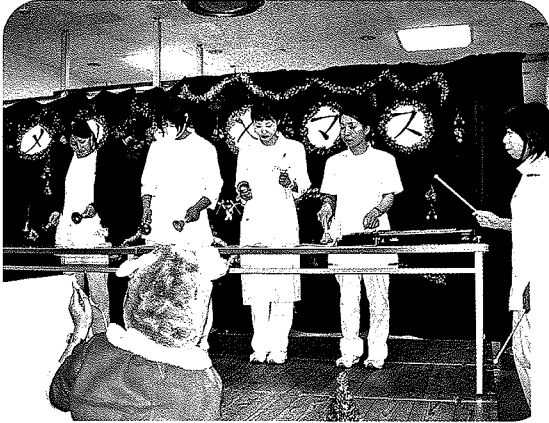
今やっと一粒、願いの種が隠岐にもまかれたところです。命の根が深く根付くことを願い、共に育てていきたいと思ひます。ざっくばらんな集まりです。是非、一度足を運んでみて下さい。お待ちしております。

地域連携室
保健師 横地明子

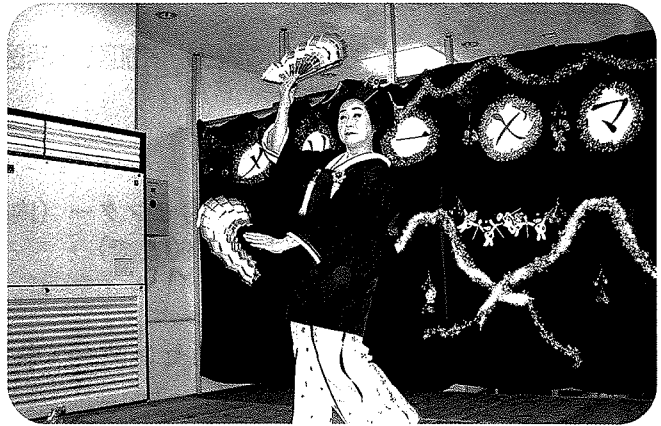


07 クリスマス会

去る12月21日、看護師主催のクリスマス会が行なわれました。今年は、たくさんのボランティアの方々に参加いただきました。ありがとうございました。



▲青年部のベル演奏



▲村上あい子さんの艶やかな日本舞踊



▲齋藤 慎さんの素敵なオカリナ演奏♪



3階詰所 働きマン音頭
このあと夜勤で働きまーす!



▲がん患者会 「サロン隠岐たんぼぼ」 ハーモニカ演奏と隠岐民謡



「総合診療」開始のお知らせ

下記のとおり「総合診療」を開始いたしますので、ご利用下さい。

開始時期 平成20年1月16日（水曜日）

診療時間 毎週水曜日、金曜日 8:30~10:30（完全予約制）

診療 病気に関して心配のある方全てを対象とします。
「どの科を受診すればよいか分からない?」「複数の科にまたがる病気が疑われる?」
「複数の症状がある」等の場合の受診を対象とします。

診察室 皮膚科外来

担当医師 武田博士医師（水曜日）・加藤一朗医師（金曜日）

申込方法

【電話予約の方】

13:00から16:30までの間に予約センター（内線174）へ申し込みいただきます（ただし予約受診日前日の申し込みは、15:00まで）

【直接お越しの方】

8:30から16:30までの間に予約センターへ申し込みいただきます（ただし予約受診日前日の申し込みは、15:00まで）

問い合わせ先 隠岐病院 医事管理係
電話 08512-2-1356（代表）（内線173）

インフルエンザ
ワクチン接種について
追加予約を受付ます。

追加予約を受付ます。

予約受付時間

電話予約 14時~17時

地域連携室

(21356 内線181)

窓口予約

随時予約センターで受付ます

接種日

毎週 火・木（11時~12時）

接種場所

外科外来

接種料金

4,900円



歯科の診療医師

交替のお知らせ

●恒松晃司医師

●高村雄太郎医師

（二月一日付け着任）

あとがき

テレビで「責任を考える日本教育白書」なる番組がありました。親として、首相として、横綱として、日本人として…等々の責任についてドキュメンタリーやYES・NO問題の構成で考えさせられることがありました。

人の上に立つ立場の者の責任の取り方は難しいものです。「自分が責任を持つ」「自分が責任をとる」なんて簡単に口にする人間ほど「責任」なんて考えていないのかもしれない。

隠岐病院の使命と責任、そこで働く者としての使命と責任…今一度、足元を見直して今年もがんばるぞー!

今年もよろしく申し上げます。

S